



つべつ

第106号

社協だより

編集 社会福祉法人 津別町社会福祉協議会 令和6年1月1日発行
<https://tsubetsu-shakyo.or.jp/>
<https://www.facebook.com/tsubetsushakyo/>

津別小学校1年生 といっしょに 「日本のあそび」を楽しみました



「地域住民に昔のあそびを教わり、日本の伝統的な遊びを体験し理解する」ことを目的に、「あやとり」「ビー玉」「おはじき」「おてだま」「竹とんぼ」の“名人”ボランティアさん6名と津別小学校1年生の生活科の授業のお手伝いをしてきました。

最初は上手いかなかった子供たちも、授業が終わるころにはすっかり“名人”になり、みんな楽しい時間を過ごすことができました。

今回の授業にあたり、おはじき、ビー玉、おてだま、紙風船、竹とんぼのたくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。今回ご寄付いただいた物はこの後も子どもたちに遊んでもらうため、小学校に寄贈させていただきました。

この社協だよりは、共同募金の配分金を活用しています。

謹賀新年



津別町社会福祉協議会
会長 山田 英孝

**住民の皆さんや事業者等と協働し、
安心して暮らせる地域づくりを進めます！**

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、健やかで新しい
年をお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

昨年は、「平和」について感じた
1年でもありました。ロシアとウク
ライナの戦争は、未だ解決の糸口が
見いだせないまま丸2年になります。
昨年10月には、イスラエルとパレス
チナの戦争が始まり、テレビでは犠
牲となった子どもの映像が映し出さ
れ、目を覆いたくなります。改めて、
平和の尊さと、誰もが安心して暮ら
せる地域づくりの必要性を感じてい
るところです。



ボランティアと協働の「社協あぐり」。
今年も大根や豆など収穫し、製品化に
向けた試作を検討中。

さて、令和6年は「第2期地域福
祉計画・第5期地域福祉実践計画」
の5年次の最終年を迎えます。
町と連携して進めている重層的支
援体制整備事業は4年目となり、地
域で生きづらさを抱えている人や、
孤立をしている人、生活に困窮をし
ている人など、誰ひとり取り残さな
い地域づくりを進めていきます。そ
のため、社協窓口での相談と合わせ、
地域が主体の身近な福祉相談所「ほ



昨年実施した市民後見人
養成研修・修了式

つと」の活
動など、各
自治会での
声掛けや見
守りなど予
防福祉を重
視した取り
組みを進め
ていきます。
また、あ
んしん生活サポートセンターで取り
組んでいる権利擁護活動は、本人主
体の支援を基本に、市民後見人と共
に、成年後見活動を取組んでいきま
す。

合わせて、町内の介護・福祉事業
所や関係機関との連携を大切にしま
がら、住民の皆さんと協働するふれ
あいサロンや認知症の方を支える事
業を始め、生活支援サポート事業な
ど、地域共生社会を見据えた事業展
開を図ります。

本年も、役員員一丸となり、自治
会など関係者の皆さんと共に、安心
して暮らせる地域づくりを進めてい
きますので、皆さんのご支援を心か
らお願いし、年頭のご挨拶といたし
ます。

謹賀新年

社会福祉法人

津別町社会福祉協議会

会長 山田 英孝

副会長 大場 建男

理事 篠森 紀仁

理事 荒川 崇

理事 大矢根 裕子

理事 鹿中 栄子

理事 高橋 以明

理事 立川 彰

理事 竹原 洋子

理事 土田 憲保

理事 藤田 祐恵

理事 水上 隆

監事 細川 順市

事務局長 房田 敏彦

事務局次長 小野 淳子

職員 門脇 隆司

職員 一同

みなさんの活動が津別町を支えています

～おっ!つべつで きんかい さがして まちづくり～

おつきさま事業

「支え合い研修会」

地域がつながり、互いに支え合い、暮らしやすいまちをつかっていくため、自治会長・福祉部長、民生委員など、地域活動に取り組まれている方を対象とした研修会を7月21日に開催しました。グループに分かれて「地域の心配事」「自分の住む自治会で取り組んでいること」「自分でもできそうなこと」など意見交換していただきました。自治会の行事やボランティアへの参加、お友達同士のグループLINEでつながりづくりなど日頃の活動が発見されました。

▶おつきさま事業とは

住み慣れた津別町で、安心して暮らし続けるために、お互い様の支え合いを見つけたり、広げたりすることを目的としています

▶きんかい（金塊）とは

お隣さんの様子を気にしたり、お友達と趣味活動で集まったり、そんないつもの優しさ、いつもの楽しみが地域の宝物です



「支え合いのまちづくりフォーラム」

第1部 基調講演 「地域の力を活かしたまちづくり ～いつもの活動が支え合い～」

研修会でも発見されたような身近な支え合いが、津別町にはたくさんあります。その活動の継続・発展が、より暮らしやすいまちづくりにつながることを広くお伝えするため「支え合いのまちづくりフォーラム」を9月28日に開催しました。基調講演に全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）理事長 池田昌弘氏をお招きし、人と人とのつながり、支え合いの大切さについてお話しいただきました。参加された方も、日頃の取り組みを振り返り、頷かれる様子が見られました。



第2部では、町内の取り組みを発表していただきました。はじめは、地域で集まり運動をメインとした交流を行っている「活汲おげんきサロン」。楽しく健康づくりをするための工夫や、自作のレクリエーション用具を披露してくれました。続いて自治会活動も活発な「豊永第3見守り訪問隊」。月に1回、お揃いの黄色いベストを着て、ご自宅を訪問。お隣さんのげんきを確認しています。

第2部 わたしたちの活動（金塊）発表会

第5期 市民後見人養成研修

平成24年度から開催し、今回5回目となる「市民後見人養成研修」が10月～11月の11日間で行われました。市民後見人は、認知症や障がいなどから、判断能力が低下した方の地域生活を支えるための貴重な存在です。判断能力が低下しても、自分のことを自分で決められるよう、本人に寄り添ったサポートを行って来ています。今回の養成研修は3名の方が受講され、成年後見制度や対象者について理解するための講義、後見事務を行うための演習、実際に対象者が利用している施設や家庭裁判所の見学など、様々なことを学んでいただきました。時には参加者同士頭を悩ませる場面もありましたが、修了式では充実感のある笑顔が見られ、素敵なおスピーチもお聞かせくださいました。この先、地域の担い手として活躍されていくことを期待しています。



**あんしんして住み続けられるまち
を目指して!!**

市民後見人が活躍しています



平成28年度から開催している「オホーツク管内市民後見人活動交流会」を11月14日に美幌町民会館にて開催しました。この交流会は2市3町（北見市、紋別市、美幌町、大空町、津別町）の市民後見人養成研修修了者が参加しており、コロナ禍以降4年ぶりに参集形式で開催することができました。久しぶりの集合研修なこともあり、参加者同士活発に意見交換される様子が見られ、交流会開催の効果が感じられました。基調講演では、北見赤十字病院から精神保健福祉士の伊藤智美氏より、「初心にかえろう～心のかけはしのつなげ方～」と題し、信頼関係を築く関わりとして、相手を尊重する姿勢と気遣いの大切さなどお話しいただきました。受任報告会には津別町から山田はる江さんが登壇され、何気ない会話から本人を理解したり、話しやすい関係性を築いているところだと報告くださいました。



**オホーツク管内
市民後見人活動交流会**

福祉教育の授業を行いました

3年生 29 名と「福祉」を知る 編

12月5日に「福祉を知って、自分たちができることを考えること」を目的に授業を行いました。福祉は「**㊦**だんの**㊧**らしを**㊨**あわせに」であることや、ユニバーサルデザインについて学びました。実際に「アイガード」をつけて、視覚障がい者の方々の疑似体験をし、目が見えなくなったら困ることについて、そして自分たちができることについて考えました。



子どもたちからは、「困っている人がいたら『どうしましたか?』と話かける」「目の不自由な方にどこへ行くか聞いて連れて行く」などの意見があり、自分たちができることを考えることができました。

そして12月8日は、寿大学で高齢者との交流をしました。二人一組になって“びゅんびゅん独楽作り”やおてだまや福笑いなどをして楽しい交流となりました。

5年生 32 名と「高齢者疑似体験」編

12月11日に高齢者に対する配慮やお手伝いを考えることを目的に高齢者疑似体験を行いました。

高齢者疑似体験とは、特殊メガネ、筋力の低下や関節の動きがしにくくなるサポーターやおもりを手や足につけて、高齢者になった時の身体機能の低下や心理的变化を疑似体験するものです。実際に装具をつけてみると、体が重く感じ、見えにくいことで怖さを感じ、高齢者の気持ちになることができたようです。また当日はボランティアさん6名に子どもたちが安全に疑似体験できるよう装着や見守りの協力していただき、60～70年後の体験をすることができました。



5年生 32 名と「車いす体験」と「認知症を知ろう」編

12月14日に障がいのある方に対しての配慮を考えることを目的に車いす体験をしました。2人1組になり、いつも使っている体育館や廊下、体育の時間に使っているマットなどをを使って車いすを押してみました。最初はうまく段差やマットの上を押して進むことができませんでしたが、スムーズに段差を上がったり、段の上で方向転換することができるようになりました。また、認知症について対応方法などを学びました。



今回の授業の実施にあたり、車いすを無償で貸していただいた 株式会社家具サロン 北装介護レンタル様 ありがとうございます。

津別町共同募金委員会より

パークゴルフ大会・ゲートボール大会を開催しました。



今年度も10月8日にパークゴルフ大会、10月28日にはゲートボール大会を例年通り開催する事が出来ました。両大会とも25名以上の方に参加して頂き、合計で32,000円の募金を集める事が出来ました。また、大東新聞販売店様には毎年ではありますが協賛して頂きました。今後とも、赤い羽根共同募金活動にご寄付のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



* — *

ボランティア 輝く人

No.35



緑町
新鞍 禮子さん

腎臓が悪く入院していたこともあり小さい頃から体が弱かったと言うが、いつも笑顔で元気一杯の禮子さんに突撃訪問した。

先日の老人クラブカラオケ大会は出場しなかったが、体調が悪いわけではないことを聞いて安心。大会でも優勝経験が数々あるが、ステージに立つ気構えとして昔教えを乞うた先生が、「言葉を大事に、みんなに伝わるようにはっきりと感情を込め歌の真意を伝えるように」と言われたことを思いながら歌っているそうです。衣装も歌のイメージが伝わるように気を使っているとのこと。確かにステージから夢をいただいています。



クラブ・自治会活動、五月会と大忙しの禮子さんですが、料理が大好きで、福祉寮の代々替寮母を今も続けているそうです。早くクラブで料理やお菓子作りをしたいとお世話好き、話好きがまだまだ止まらないようです。

今日もスカットボールの練習に向かわれるとのこと。一日家にいるのは月に1週間ぐらいかなと明るく元気に話されてます。

津別町老人クラブ連合会

パークゴルフ大会

雨のため 1 週間延期になりましたが
9 月 21 日 10 クラブ 30 名が参加して盛大に開催されました。



男性 佐々木 高士さん
(友楽園すこやかクラブ)



女性 赤池 奎子さん
(柏寿園老人クラブ)

ゲートボール大会

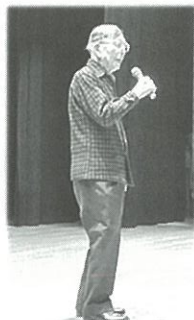
9 月 22 日 7 クラブ 20 名が参加して盛大に開催されました。



優勝チーム 丸尾 諭さん (新栄) チーム
小野 勇さん (豊永) 佐藤 卒子さん (新栄) 山下 昌子 (活汲)

演芸交流会

11 月 15 日 19 組 21 名が歌い
4 年ぶりに盛大に開催されました。



心あたたまるご寄付ありがとうございました。

(令和5年9月20日から令和5年12月20日)

社会福祉協議会へ

◆香典返しを廃して

高台河合廣善様・柏町佐藤玲子様・共和藤井久子様
共和濱端隆一様・緑町半澤喜代子様・北見市野口晃様
豊永野上茂韶様・最上高田きみ子様・岩富矢作純一様
豊永斉藤光雄様

◆その他

匿名希望

指定寄付

◆柏町自治会へ

◆柏寿園老人クラブ

◆NPO法人津別町手をつなぐ育成会

◆すきっぷ

柏町佐藤玲子様
柏町佐藤玲子様
柏町佐藤玲子様
柏町佐藤玲子様



津別町玉葱振興会青年部 様より

沢山の玉葱（6袋）を寄付していただきました。ありがとうございます。福祉事業等で活用させていただきます。

津別更生保護女性会 様より

友愛セールの益金の一部を社協へ寄付していただきました。ありがとうございます。



「家族介護者の会」の開催

- 内 容 : 「認知症について聞いてみたいこと」「開催してほしい講座」
「みんな(当事者や家族)でやってみたいこと」をみんなで話し合しましょう。
- 対 象 者 : 認知症の方の介護をしているご家族の方
- 開催日時 : 令和6年2月15日(木) 13:30 から 15:00
- 場 所 : 役場 健診ホール
- 申込〆切 : 令和6年2月9日(金) 午後5時まで
- 申 込 先 : 津別町社会福祉協議会 電話 76-1161 (担当 山口・門脇)
- ※ みなさんの思いや意見を聞かせていただき、今後に役立てていきます。

編集 後記

今回津別小学校の子供たちと高齢者の交流がありましたが、みんなとても楽しそうでした。生きていく中で世代が違う方たちと接することが、いかに大切かを学びました。(K)